原発事故の収束に自分たちが協力したい! 行動隊員と支援者50人のメッセージ

山田恭暉 (福島原発行動隊理事長) ・編著

京発行動隊

·今、この国に必要なこと~

2012年1月25日発売 批評社刊 四六判224ページ 定価:1.600円+税

被曝することが不可避となる福島第一原発の事故収束作業。

「若者の被曝を可能な限り減少させる」ことをめざして、「福島原発行動隊」が誕 生した。そこでは「60歳以上の退役者が事故収束作業に加わろう」という呼びかけ が行われている。

2011年末現在、行動隊志願者651人、支援者(賛助会員)1,576人を数える。 本書は、その志願者、支援者がどのような考えで行動隊に参加したかという手記を まとめたもの。福島第一原発の事故を前にして、いまこの国を再生させるために、 一人ひとりの行動が必要となる。

●主な内容

さわやかな志と凛とした情熱のもとで

……山折哲雄(宗教学者)

老人の頭脳と技術こそが生き返る日本の誇り

……高橋三千綱(作家)

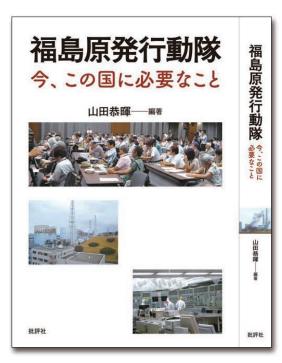
私と福島原発行動隊との出会い

……牧山ひろえ(参議院議員)

福島原発行動隊のめざすもの

……山田恭暉インタビュー

行動隊員および賛助会員50人のメッセージ



全国の書店でご購入いただけます。書店でのご注文は「発行元 批評社」とご指定ください。



一般社団法人

Skilled Veterans Corps for Fukushima 電話:03-5980-8535 FAX:03-5980-8536

〒114-0023 東京都北区滝野川7-7-7 サークル伊藤ビル302 SVCF内